

5月24日(木) 午後3時～4時30分

共通講義棟3号館 第1講義室

地域開発論 ゲスト講師講演会

中村哲雄(前岩手県葛巻町長)

地域資源を生かした町おこし

牛乳とワインと自然エネルギーの町、岩手・葛巻



葛巻町という名前を知っている人はどのくらいいるだろう。岩手県の山間部に位置する人口わずか8千人のこの町は、「何もない。鉄道も高速道路も通っていないし、山の町なのに温泉もなければ、スキー場もゴルフ場もない」と地元の人言う「僻地」だった。しかし今、1万頭以上の牛を飼い、自然エネルギーで町民の消費量の4倍以上の電力をつくり、全国から50万人が観光や牧場体験、視察に訪れる注目の町となっている。どうしてそんなことが可能になったのか。前町長の中村哲雄さんが自らの町おこしの実践と哲学を語る。



中村哲雄さんの略歴：
日本大学獣医学部卒業後、葛巻町に戻る。
葛巻町畜産開発公社の専務理事を長年務めた後、1999年～2007年町長をつとめる。

「地域開発論」(熊谷担当)の授業の一環ですが、この講演だけでも自由に聴講できます。遠慮なくご参加ください(事前申し込みは不要)。

問合せ先: 熊谷圭知(5978-5191) kumagai.keichi@ocha.ac.jp
お茶の水女子大学 文教育学部 グローバル文化学環